

# さんむくせい

平成29年2月14日発行  
静岡県養護教諭研究会  
代表 山崎 永子  
(菊川市立菊川西中学校)



## 「One for All, All for One」



静岡県養護教諭研究会 副会長 橋本協子

ヤマハ発動機のラグビーチームが首位のサントリーに惜しくも及ばず、第2位で今季戦リーグ戦を終えました。昨年までチームの要であった五郎丸歩選手が海外移籍する中、影響を微塵も感じさせなかった今季の快進撃はさすがヤマハ。清宮監督の采配もさることながら、フォワード陣のセットプレー、バックス陣の多種多様な攻撃、新加入のフルバック、ファンデンヒーファー選手の安定したキック力等、どの選手も確実に得点を上げ、チームの勝利に貢献していました。

ラグビーの基本精神を象徴する言葉「One for All, All for One」を耳にしたことがあると思います。これは「一人一人が自分の役割を把握し、それを果たした上で全体のことを考える」という、個々の自律の上に成り立つ相互補助を意味します。みんなに頼って甘えるのではなく、それぞれの持ち場でやるべきことをきちんと果たすことがチームの勝利に結びつくということです。このことは、研究会にも通じるものがあると感じます。様々な活動において、計画立案、運営、実施、報告等に至るまで、役員は言葉にしなくても常に「会員一人一人のために」という思いを持って各々の持ち場で役割を果たしています。その思いが会員同士の交流に、個々の実りある研修に、そして、研究会全体の大きな成果に結びついていれぱうれしく思います。

29年度は「養護教諭の職務をひらき・つなぎ・深めよう—専門性とマネジメント力の発揮—」の集大成の年です。政令市に関わる課題ともしっかり向き合い、支え合い、研究会が県下の養護教諭の資質向上を目指すことのできるチームであるよう、運営に努めていきたいと思っています。



## 地区紹介 小笠地区



小笠地区は、掛川市・菊川市・御前崎市の三市からなり、小学校36校、中学校14校、会員数は50名です。活動基盤の組織『小笠地区養護教諭研究会』は、今年で発足17年目を迎えました。平成25年度より『「連携と育成」～養護教諭の資質向上を目指す～』を努力点にあげ、共に学び、後輩を育てていくための研修を進めています。全体研修会を年2回、班研修を年3回、中学校部会では、地区内高等学校養護教諭との合同研修を隔年1回行っています。保健統計は「児童生徒の体格疾病」に、活動実践記録は、研究誌「かがやき」にまとめて毎年発行しています。

今年度の全体研修会では、浜松市立追分小学校教頭 稲川秀子先生を講師にお招きし「養護教諭の学校組織への関わり方」について御講話をいただいたり、静岡県立掛川特別支援学校を視察し、講話「特別支援学校の保健室～こどもたちの世界に寄り添う～」を伺ったりしました。

今後も養護教諭の資質向上と組織の活性化を目指し、県研究会と共に活動を進めてまいります。

## 冬季研修会報告



12月2日、「あざれあ」にて、冬季研修会が開催されました。午前は、講師に静岡県立こども病院輸血管理室長 堀越泰雄氏をお迎えし、「小児がん医療を通してがん教育を考える」と題して講演をいただきました。

午後は、4つの分科会に分かれて、救急処置、学校医との連携、ピア・サポートについて研修を行いました。講演や分科会の要点、参加者の感想をお伝えします。

### 講演 「小児がん医療を通してがん教育を考える」

静岡県立こども病院 輸血管理室長 堀越泰雄氏

これまでの臨床経験に基づいた小児がんの病態や病状、治療方法に加えて健康診断の受診や生活習慣を改善することは、がんの予防に有効であることを学んだ。

<感想>

多くの資料と豊富な知識で勉強になった。  
がん教育に向けての知識を得ることができた。



### 第1分科会「小中学生の目の健康」

さくら眼科医院 院長 松久充子氏  
養護教諭として知っておきたい眼科全般におけるポイント(外傷への対応や色覚異常、発達障害との関係等)を学んだ。

<感想>

目のけがから発達障害まで、幅広い目の健康について聞くことができ参考になった。すぐに実践につなげられそうな内容であった。

### 第2分科会「学校医と養護教諭の

パートナーシップ」

南寿堂医院 院長 岩田祥吾氏

学校保健の連携・協力・協働をキーワードに講義で学び、グループワークで目指すパートナーシップについてまとめた。

<感想>

学校医と養護教諭の連携が参考になった。岩田先生の「子どもたちの健康」にかける情熱に胸が熱くなった。

### 第3分科会「歯と口のけがを防ごう」

尾崎歯科医院 院長 尾崎元紀氏

歯と口の機能を再確認し、学校管理下で発生する口腔外傷の現状と安全管理、応急処置の方法を学んだ。

<感想>

体験を交えながらとても勉強になった。改めて歯と口腔のけがの予防の大切さを感じた。

マウスガードについて詳しく知ることができてよかった。

### 第4分科会「不登校防止を目指した

ピア・サポート」

浜松江之島高校 教諭 山口権治氏

ピア・サポートとは何か考え、人とつながる力を育てるピア・サポートを実践的に学んだ。

<感想>

ピア・サポートの視点は素晴らしい。ぜひ、実践してみたい。子どもたちだけでなく職員間でもピア・サポートを実践できたらと思った。